



日本学習社会学会第 20 回研究大会



9月2日(土) 12:30 受付開始

13:00~15:00 課題研究

課題研究Ⅰ 学習社会の新たな視点と課題—ポストコロナ時代における学びの形—

報告者 齊藤 翼 (ブリティッシュコロンビア大学博士候補生) : 日加比較によるポストコロナにおける学習社会の課題の一考察: デジタル不平等を中心に
宗像晋路 (早稲田大学大学院・小学校教諭) : ポストコロナ時代の「特別活動」の人間関係形成—ヘンリー・ジラーの「境界教育学」実践からの再考—
島川 崇 (神奈川大学) : 専門学校教育における学びの特徴と変化—社会的なミッションから見えてくる新たな学習社会の姿

司会: 吉田 尚史 (福岡女学院大学)

課題研究Ⅱ 学習支援を通じた学習権保障の取り組み—言語教育を中心に—

報告者: 新関ヴァッド郁代 (産業能率大学) : インド指定ドライブの言語選択をめぐる教育問題—アルナーチャル・プラデーシュ州タウン県のモンパの事例から—
高坂 千夏子 (東京都立大学大学院) : タイにおける生活に根ざした識字教育実践—北部国境地域の事例に着目して—
平山 雄大 (お茶の水女子大学) : ブータンにおける識字教育の取り組み—「ノンフォーマル教育」としての成人識字教育を中心に—

司会: 呉 世蓮 (関東学院大学)

15:15~16:15 総会

16:30~18:30 日本学習社会学会創立 20 周年記念シンポジウム

共生社会における複合的な生涯学習支援の可能性—先住民への支援の課題について考える—

報告者: 赤尾 勝己 (関西大学/日本学習社会学会会長) : 共生社会に向けた生涯学習支援—社会学的観点を中心に—
前田 耕司 (早稲田大学/日本学習社会学会顧問) : 先住民との共生とパートナーシップ—オーストラリアの先住民主体の教育から—
山本 命 (松浦武四郎記念館館長/松坂市教育委員会) : 松浦武四郎が目指したアイヌと和人の共生

司会: 岩崎 正吾 (首都大学東京(現東京都立大学)名誉教授/日本学習社会学会副会長)

9月3日(日) 9:00 受付開始

9:30~12:30 自由研究発表

13:00~16:00 公開シンポジウム

小中連携、一貫教育と地域の役割—人口減少社会における義務教育の役割を考える—

基調講演: 吉村 潔 (東京女子体育大学/品川区教育委員) : 教育改革の一端を担った小中一貫教育—品川区教育委員会の取組を中心に—
報告者: 岡部 義孝 (釧路市教育長) : 釧路市がめざす学校のすがた基本計画について—小中一貫教育と施設一体型義務教育学校の設置に向けて—
吉村 潔 : 小中一貫教育の推進に向けて校長として考えてきたこと
志々田 まなみ (国立教育政策研究所) : 小中一貫教育を推進する上での学校運営協議会の機能とその課題
安井 智恵 (北海道教育大学大学院) : 小中一貫コミュニティ・スクール浦幌学園における「うらほろスタイル」の取組

司会 田中 達也 (釧路公立大学)

参加方式 完全対面 オンラインはありません

参加費 一般・臨時会員 2,000 円/院生・学生会員 1,000 円、公開シンポジウムのみの参加は無料

お問い合わせ: 日本学習社会学会第 20 回大会実行委員会 釧路公立大学 田中達也 learningsociety20th@gmail.com 0154-37-5526 (直通)

